

事業番号										新27-010			
平成 2 6 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)	
事業名		風しん排除対策推進費			担当部局庁		健康局			作成責任者			
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度 :平成27年度 終了(予定)年度:終了予定なし			担当課室		結核感染症課			結核感染症課 井上 肇			
会計区分		一般会計			政策・施策名		I－5－1 感染症の発生・まん延の防止を図ること						
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－			関係する計画、通知等		「風しんに関する特定感染症予防指針」 (平成26年厚生労働省告示第122号)						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		「風しんに関する特定感染症予防指針」(平成26年厚生労働省告示第122号)を踏まえ、早期に先天性風しん症候群の発生をなくすとともに、平成32年度までに風しんの排除を達成することを目的とする。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)		自治体に対する風しん対策の技術支援を行うことや予防の普及啓発を行う麻しん発症地域における麻しんの発生経路等の調査・分析を行い、風しん排除を達成する。											
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算	－	－	－	－	7					
			補正予算	－	－	－	－						
			前年度から繰越し	－	－	－	－						
			翌年度へ繰越し	－	－	－							
			予備費等	－	－	－	－						
		計	－	－	－	－	7						
		執行額		－	－	－							
		執行率(%)		－	－	－							
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)			
		風しんの予防接種の接種率			成果実績	%	89.5%	90.8%	集計中				
					目標値	%	－	－	－	－			
					達成度	%	－	－	－				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込			
		風しん対策推進会議の開催回数			活動実績	回	－	－	－	－			
					当初見込み		－	－	－	－			
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込			
		単位当たりコスト＝X／Y X:「風しん排除対策推進費執行額」 Y:「風しん対策推進会議開催回数」			単位当たりコスト	百万円	－	－	－	－			
					計算式	X/Y	－	－	－	－			
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由								
	社会保障関係情報化業務庁費		－	7	新規								
計		0	7										

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高く国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	感染症の発生・まん延を防止するため、風しんの根絶を推進する事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	－	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－	－	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			－	－	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－	－	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－	－	
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	－				
	改善の方向性	－				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
－	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	－	平成24年	－	平成25年	－

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
7百万

「風しんに関する特定感染症予防指針」を踏まえた、風しん対策の技術支援



【一般競争入札等】

A. 民間企業
7百万

「風しんに関する特定感染症予防指針」を踏まえた、風しん対策の技術支援のためのガイドライン等の作成等

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号										新27-011			
平成26年行政事業レビューシート												(厚生労働省)	
事業名		予防接種記録の電子化に係る経費			担当部局庁		健康局			作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度		開始年度:平成27年度 終了(予定)年度:終了予定なし			担当課室		結核感染症課			結核感染症課 井上 肇			
会計区分		一般会計			政策・施策名		I-5-1 感染症の発生・まん延の防止を図ること						
根拠法令 (具体的な条項も記載)		「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成25年法律第27号)第9条第1項			関係する計画、通知等		予防接種に関する基本的な計画						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		近年、定期接種化されるワクチンが増加し、接種回数やスケジュールが複雑化している。 しかし、予防接種記録について、市町村長等が保存する手法にはバラツキがあり、国民一人一人が生涯保有できる仕組みとなっていない。 また、「行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」(平成25年法律第27号)第9条第1項により、予防接種法に基づく予防接種の実施等の事務処理に関して保有する特定個人情報ファイルにおいて個人情報を効率的に検索し、及び管理するために必要な限度で個人番号を利用することができることとされている。 このため、今後国民一人一人が生涯保有できる仕組みとして、マイナンバー・マイポータルへの引き継ぎを前提に、予防接種記録の電子化に向けた調査・検討を行うために必要な経費を要求するものである。											
事業概要 (5行程度以内。別添可)		(1) 予防接種記録電子化検討会議(仮称)の開催 (2) 予防接種記録の保存状況及び電子化導入状況の調査 (3) 諸外国における予防接種記録の電子化導入及び活用状況の調査 (4) 検討会議及び調査結果を踏まえた予防接種記録の電子化(試作)											
実施方法		■直接実施 □委託・請負 □補助 □負担 □交付 □貸付 □その他											
予算額・執行額 (単位:百万円)				23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求					
		予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	8					
			補正予算	-	-	-	-						
			前年度から繰越し	-	-	-	-						
			翌年度へ繰越し	-	-	-							
			予備費等	-	-	-	-						
		計	-	-	-	-	8						
		執行額		-	-	-							
執行率(%)		-	-	-									
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (26年度)			
		予防接種記録の電子化導入率			成果実績	%	-	-	-				
					目標値	%	-	-	-	100.0%			
					達成度	%	-	-	-				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込			
		予防接種記録電子化検討会議(仮称)の開催回数			活動実績	回	-	-	-	-			
					当初見込み		-	-	-	-			
単位当たりコスト		算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込			
		単位当たりコスト = X / Y X:「予防接種記録の電子化に係る執行額」 Y:「予防接種記録の電子化(試作)」			単位当たりコスト	百万円	-	-	-	-			
					計算式	X/Y	-	-	-	-			
平成26・27年度予算内訳(単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由								
	諸謝金		0	0.4	「新しい日本のための優先課題推進枠」0.4百万円 「新しい日本のための優先課題推進枠」3.3百万円 「新しい日本のための優先課題推進枠」1.2百万円 「新しい日本のための優先課題推進枠」3.3百万円								
	職員旅費		0	3.3									
	委員等旅費		0	1.2									
	社会保障関係情報化業務庁費		0	3.3									
計		0	8.2										

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	予防接種記録については、現在、地方自治体によって、管理体制がバラバラなため、国費を投入し統一モデルを作成する必要がある、国民一人一人が生涯保有できる仕組みを構築するための事業であり、国民のニーズ、優先度ともに高く国費を投入しなければ事業目的を達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	地方自治体の統一モデル作成のため、国の関与のもと、適確に実施すべき事業である。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	当該事業は、世界最先端IT国家創造宣言に位置付けられた事業であり、優先度の高い事業となっている。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	－	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－	－	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			－	－	
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－	－	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－	－	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・ 改善結果	点検結果	－				
	改善の 方向性	－				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
－	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状 通り	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	－	平成24年	－	平成25年	－

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省
3百万

〔 予防接種記録の電子化に係る経費 〕



【一般競争入札等】

A. 民間企業
3百万

〔 予防接種記録保存状況及び電子化導入状況調査、
予防接種記録の電子化（試作） 〕

その他事務費
5百万

〔 諸謝金・職員旅費・委員等旅費 〕

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）
（単位：百万円）

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

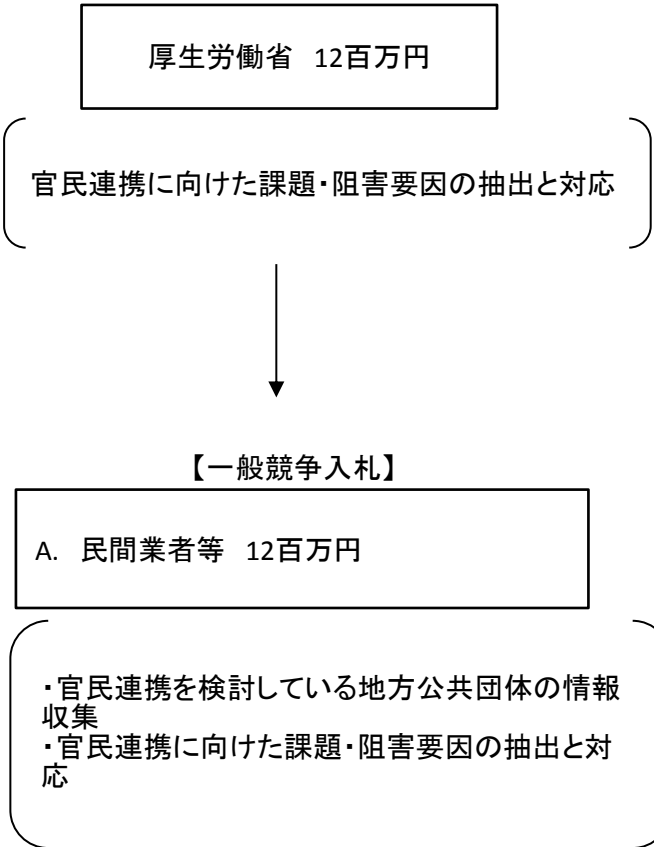
A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

事業番号										新27-012						
平成 2 6 年行政事業レビューシート												(厚生労働省)				
事業名		官民連携等基盤強化支援事業				担当部局庁		健康局		作成責任者						
事業開始・終了(予定) 年度		開始年度 : 平成27年度 終了(予定) 年度 : 平成28年度				担当課室		水道課		水道課長 宮崎 正信						
会計区分		一般会計				政策・施策名		Ⅱ－２－１ 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること								
根拠法令 (具体的な条項も記載)		－				関係する計画、通知等		新水道ビジョン								
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)		人口減少や水需要減少、職員数の減少など、これからの厳しい社会環境の下で健全な水道事業を継続するため、官民連携の導入に向けた課題を解決し、官民連携方策導入の促進を図ることを目的とする。														
事業概要 (5行程度以内。別添可)		・官民連携を検討している地方公共団体の情報収集 ・官民連携に向けた課題・阻害要因の抽出と対応														
実施方法		☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他														
予算額・執行額 (単位:百万円)				23年度		24年度		25年度		26年度		27年度要求				
		予算 の 状 況	当初予算		－		－		－		－		12			
			補正予算		－		－		－		－		－			
			前年度から繰越し		－		－		－		－		－			
			翌年度へ繰越し		－		－		－		－		－			
			予備費等		－		－		－		－		－			
		計		－		－		－		－		12				
		執行額		－		－		－		－		－				
執行率 (%)		－		－		－		－		－						
成果目標及び成果実績 (アウトカム)		成果指標						単位	23年度		24年度		25年度		目標値 (28年度)	
		官民連携に向けた課題・阻害要因を抽出し、それらを解決することによる基本計画等の作成				成果実績	件	－		－		－				
						目標値	件	－		－		－		100		
						達成度	件	－		－		－				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)		活動指標						単位	23年度		24年度		25年度		26年度活動見込	
		官民連携を検討している地方公共団体への支援件数				活動実績	件	－		－		－		－		
						当初見込み	件	－		－		－		－		
単位当たりコスト		算出根拠						単位	23年度		24年度		25年度		26年度活動見込	
		単位当たりコスト = X / Y X:「執行額」 Y:「官民連携を検討している地方公共団体への支援件数」				単位当たりコスト	百万円/件	－		－		－		－		
						計算式	X / Y	－		－		－		－		
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費 目		26年度当初予算		27年度要求		主な増減理由									
	食品等試験検査費		－		12											
	計		－		12											

事業所管部局による点検・改善						
	項 目			評 価	評価に関する説明	
国費投入の 必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築（強靱化）計画策定の手引きを作成することは広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	人口減少社会に伴う水需要減少は全国的に見られる傾向であり、水道施設再構築（強靱化）計画策定について指針を示すことは、全国一律に行うべきものであり、国が実施すべき事業といえる。	
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	将来に渡り強靱で持続的な水道を確保するため、水道施設再構築（強靱化）計画策定の手引きを作成することは優先度が高い。	
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			－	－	
	受益者との負担関係は妥当であるか。			－	－	
	単位当たりコストの水準は妥当か。			－	－	
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			－	－	
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			－	－	
	不用率が大い場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）			－	－	
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			－	－	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			－	－	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			－	－	
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。 （役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）			－	－	
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・ 改善結果	点検結果	－				
	改善の 方向性	－				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
－	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点／概算要求における反映状況						
現状 通り	－					
備考						
－						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	－	平成24年	－	平成25年	－

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)



費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

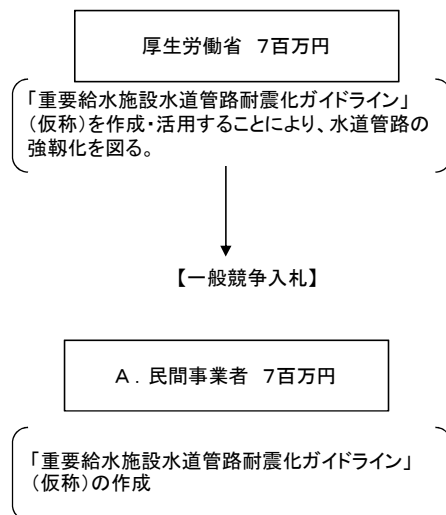
平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	重要給水施設水道管路強靱化事業費	担当部局庁	健康局	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成27年度 終了(予定)年度:平成28年度	担当課室	水道課	水道課長 宮崎 正信					
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅱ－２－１ 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	水道法第5条	関係する計画、通知等	水道施設の技術的基準を定める省令 水道ビジョン						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	災害時に重要な拠点となる基幹病院や診療所、大規模な緊急避難所等(重要給水施設)に水道水を供給する管路の耐震化、断水した場合の優先的復旧に係る対応についてガイドラインを作成し、各水道事業体における耐震化計画に反映することにより、重要給水施設のソフト・ハード両面での強靱化を図ることを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国の水道事業者における重要給水施設への水道管路の耐震化に係る計画の有無について調査し、現時点で水道施設の重要給水施設を選定している水道事業者を対象に、その選定の考え方や、断水した場合の優先的復旧にかかる対応等について調査を行い、ガイドライン作成のためのインプットとする(4事例程度)。また、事例調査及び専門家の意見を踏まえ、全国の水道事業者が重要給水施設の耐震化を加速するためのガイドラインを作成する。ガイドラインには、優先的に耐震化を実施すべき重要給水施設の選定指針、耐震化に関する技術的な対応方策や効果的・効率的な進め方、断水した場合の優先的復旧に係る対応など、ソフト・ハード両面における強靱化に資する記載を行う。								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	-	-	-	-	7		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
	計		-	-	-	-	7		
	執行額		-	-	-	-	-		
	執行率(%)		-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (34年度)
	基幹管路の耐震適合率			成果実績	%	-	-	-	
				目標値	%	-	-	-	50
				達成度	%	-	-	-	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	27年度活動見込
	重要給水施設管路の耐震適合率			活動実績	%	-	-	-	-
				当初見込み	%	-	-	-	-
単位当たりコスト	算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	27年度見込
	単位当たりコスト = X / Y X: 執行額 Y: 重要給水施設管路の耐震適合率上昇度(前年度比)			単位当たりコスト	百万円/%	-	-	-	-
				計算式	X / Y	-	-	-	-
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	(目)食品等試験検査費		-	7					
	計		-	7					

事業所管部局による点検・改善						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	重要給水施設管路の耐震性向上については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	重要給水施設管路の耐震性向上は、全国の水道事業者を取り巻く経営環境が厳しさを増すなか、効率的、効果的に進めて行くための指針を定め、一定の方策を基に計画的に行う必要があり、国が実施すべき事業である。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	重要給水施設管路の耐震性向上については、全国の水道事業者において早急な取組が必要とされる課題となっているため、優先度が高い事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—	—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—	—		
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検・改善結果	点検結果	—				
	改善の方向性	—				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	—	平成24年	—	平成25年	—

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

平成26年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	水道事業発展的広域化推進事業費	担当部局庁	健康局	作成責任者					
事業開始・終了(予定)年度	開始年度:平成27年度 終了(予定)年度:平成27年度	担当課室	水道課	水道課長 宮崎 正信					
会計区分	一般会計	政策・施策名	Ⅱ-2-1 安全で質が高く災害に強い持続的な水道を確保すること						
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	新水道ビジョン						
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	水道を取り巻く社会環境が厳しさを増す中、経営面や技術面の強化など様々な課題解決については、個々の水道事業者で対応できるものは限られるため、複数の水道事業者による事業統合など多様な形態の広域連携(発展的広域化)により、運営基盤を強化していくことを目的とする。								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	新水道ビジョンに掲げる発展的広域化を推進するため、その推進・調整役である都道府県が、個々の水道事業者では解決できない経営面や技術面の課題に対し、広域的な事業間調整や流域単位の連携推進においてリーダーシップを発揮し、地域の実情に応じた広域化を主導できるよう、具体的な調整手法について技術的支援を行う。 ・「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」作成								
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託・請負 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ 交付 ☐ 貸付 ☐ その他								
予算額・執行額 (単位:百万円)			23年度	24年度	25年度	26年度	27年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	—	—	—	—	5		
		補正予算	—	—	—	—	—		
		前年度から繰越し	—	—	—	—	—		
		翌年度へ繰越し	—	—	—	—	—		
		予備費等	—	—	—	—	—		
	計		—	—	—	—	5		
	執行額		—	—	—	—	—		
執行率(%)		—	—	—	—	—			
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標				単位	23年度	24年度	25年度	目標値 (27年度)
	広域化の実施件数			成果実績	件	手引きを作成することにより、都道府県が主導する水道事業者間の広域化(広域連携)の進捗を加速させるため、成果実績は28年度以降にあらわれます。 そのため、27年度の成果実績を記載できません。			
				目標値	件				
				達成度	件				
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標				単位	23年度	24年度	25年度	26年度活動見込
	「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」作成			活動実績	%	—	—	—	—
				当初見込み	%	—	—	—	—
単位当たりコスト	算出根拠				単位	23年度	24年度	25年度	26年度見込
	単位当たりコスト = X / Y X:「予算額(手引き作成費)」 Y:「広域化の実施件数」			単位当たりコスト	百万円/件	—	—	—	—
				計算式	X / Y	—	—	—	—
平成26・27年度予算内訳 (単位:百万円)	費目		26年度当初予算	27年度要求	主な増減理由				
	食品等試験検査費		—	5					
	計		—	5					

事業所管部局による点検・改善						
	項 目		評 価	評価に関する説明		
国 必 要 投 入 の 性 質	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	水道事業体の運営基盤を強化し、将来にわたり健全な事業運営を持続させるため、「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」を作成することにより事業統合等の広域化を図り、安全・安心な水道水を供給し続けることは広く国民のニーズが高く、国費を投入しなければ事業目的が達成できない。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	事業統合等の広域化により水道事業体の運営基盤強化を図ることは全国的な課題であり、広域化の実施課題に対する調整手法を手引きとして示すことは国が実施すべき事業といえる。		
	明確な政策目的（成果目標）の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○	水道事業体の運営基盤を強化し、将来にわたり健全な事業運営を持続させるため、「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」を作成することにより事業統合等の広域化を図ることは喫緊の課題として優先度が高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		—	—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—	—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。		—	—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—	—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		—	—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。（理由を右に記載）		—	—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		—	—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		—	—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—	—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。（役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載）		—	—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 ・ 改 善 結 果	点検結果	—				
	改善の方向性	—				
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	事業の必要性、効率性及び有効性の観点から、特段問題ない。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
現状通り	—					
備考						
—						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成23年	—	平成24年	—	平成25年	—

※平成25年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。

厚生労働省 5百万円

「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」を
作成・活用することにより、水道事業体の運営基
盤の強化を図る。



【一般競争入札】

A. 民間事業者 5百万円

「発展的広域化に向けた調整手法の手引き」の
作成

資金の流れ
(資金の受け取
り先が何を行っ
ているかについ
て補足する)
(単位: 百万
円)

費目・使途
(「資金の流れ」に
おいてブロックご
とに最大の金額
が支出されている
者について記載
する。費目と使途
の双方で実情が
分かるように記
載)

A.			E.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費 目	使 途	金 額 (百万円)	費 目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支 出 先	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	入札者数	落札率
1					
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					